

【氏 名】月岡 道晴(ツキオカ ミチハル)

【職 名】教授

【学 位】修士(文学)

【生年月日】昭和 50 年(1975) 2 月

【本学就任】平成 16 年(2004) 5 月

【略 歴】國學院大學大学院文学研究科日本文学専攻博士課程後期単位取得満期退学

【専門分野】萬葉集研究

【担当科目】国文総論(オムニバス形式)、国文基礎演習、卒業論文Ⅰ・Ⅱ、伝承文学概説Ⅰ・Ⅱ、日本文学講読A、
国語学講読A・B、文芸創作展開 C

【所属学会】上代文学会理事、美夫君志会理事、萬葉学会会員、古代文学会会員、日本文学協会会員

【研究テーマ】柿本人麻呂の作品研究、上代日本文学における文字表現の研究、古代文学における付属語の研究

【研究業績】

【最近5年間の主な研究業績】[令和元年度～令和5年度(5点まで)]				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	単 著	日本書紀の構成と仁徳紀の易名記事	國學院雑誌 120 巻 11号	令和元年11月
論 文	単 著	学界の動向・上代韻文「テキストとしての『萬葉集』／テキストからの万葉歌」	文学・語学 229 号	令和2年9月
論 文	単 著	万葉歌における来歴表現について —贈物歌の形式を中心に—	萬葉集研究第 41 集	令和4年2月
論 文	単 著	萬葉集巻十三は替え歌歌集か —類歌性や無名性、歌の分離接合などから—	萬葉集研究第 42 集	令和5年3月
論 文	単 著	万葉歌の表記における訓仮名の位相 —人麻呂歌集を中心に—	古代文学 63 号	令和6年3月

【平成30年度以前の主な研究業績】(5点まで)				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	単 著	夢に姿を見る—人麻呂歌集巻十・ 二二四—歌の訓みをめぐって—	國學院雑誌 115 巻 10号	平成26年10月
論 文	単 著	近江荒都歌の構造と視点—「いかさま に思ほしめせか」と「諾しこそ」—	美夫君志 91 号	平成27年11月
論 文	単 著	梓弓と真弓—久米禅師と石川郎女と の問答歌—	国語と国文学93 巻11号	平成28年11月
論 文	単 著	「不知代経浪乃去邊白不母」—宇治河 邊作歌から見る人麻呂の表記態度に ついて—	上代文学 118 号	平成29年4月
論 文	単 著	選択的表現としての万葉集の仮名遣い	古代文学 57 号	平成30年3月

【最近の社会的活動】

日本歌人クラブ北海道ブロック長(令和3～現在)

北海道新聞「新・北のうた暦」連載(月 2～3 回、平 29.3～現在)

北海道新聞「月岡道晴先生の記紀万葉よもやま話①～⑦」(令和 2 年 9 月 9 日、10 月 14 日、11 月 11 日、
12 月 9 日、令和 3 年 1 月 13 日、2 月 10 日、3 月 10 日)

日本現代詩歌文学館振興会評議員(平成 29.3～現在)